

重点施策		市立高等学校の充実		評価実施者		所 属	滝川西高等学校事務局
				職・氏名		事務長 赤松恒夫	

重点施策の概要	目 的	市立高等学校において、適正かつ円滑にして効果的な学校運営を行うため、教育活動の改善・充実や教材・教具の整備・充実、施設・設備の改修・整備等を積極的に進め、もって市立高等学校の充実に資することを目的とする。					
	今年度の主要事業	①平成25年度からの新しい教育課程の編成 ②英語教育及び国際理解教育の推進 ③キャリア教育の充実 ④教育環境の整備・充実					

事業の目標と実績	区 分		単位	H21	H22	H23	特記事項	
	1	GTEC	目標	スコア	-	-	462.0	全国平均を目標
			実績	429.9	431.3	466.1		
	2	国公立大学への進学者数	目標	人	20	20	20	教育大学、釧路公立、公立はこだて未来 北見工業、名寄市立、筑波技術
			実績	16	16	13		
	3	就職率	目標	%	100.0	100.0	100.0	
			実績	98.2	100.0	100.0		
	4	入学者定員の充足率	目標	%	100.0	100.0	100.0	
			実績	99.6	98.2	100.0		
	5		目標					
実績								
6		目標						
		実績						
7		目標						
		実績						

事業の分析 効果の検証	①平成25年度からの新しい教育課程の編成（編成を完了） ②英語教育及び国際理解教育の推進（GTECの成績・結果の伸びが顕著・431.3→466.1） ③キャリア教育の充実（国公立大学への進学者数が6年連続二桁、就職率が2年連続100%） ④教育環境の整備・充実（グランド・フェンス設置388万円、室内トレーニング場改修1,442万円等・・・ 本校舎及び実習棟の屋上防水、駐輪場の整備、生徒用の机・椅子の更新等、改修・整備が非常に遅れている状況）
課題	・施設、設備が老朽化しており、雨漏りが頻繁に起こるなど、一部、教育活動に支障が出ている。 ・生徒用の椅子・机の経年劣化の状況が酷く、そのために生徒の制服が破損するなど、問題が生じている。 ・平成25年度からの新しい教育課程の実施に向けての教材・教具の整備が遅れている。

評価	A 評価の視点1 期待どおりの効果があったか 英語教育におけるGTECの成績・結果の伸びが顕著であるほか、国公立大学への進学者数が6年連続二桁になるとともに、就職率が2年連続100%になるなど、期待どおりの効果を上げていると考える。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか 今後とも、これまでと同様な施策効果を上げていくためには、施設・設備の大規模改修や教材・教具等の整備・充実を計画的かつ実効的に進める必要がある。
----	---

【評価の区分】

A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
 B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
 C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
 D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	市立高等学校は、学習指導と生徒指導の両面について充実した教育活動を行っており、進学・就職の進路結果や部活動の成績結果等に顕著な成果が見られるとともに、地域の他の高等学校に比べて、毎年の入学者定員の充足率が高いことから、施設・設備の大規模改修など、所与の手当てを講じながら、事業の継続・充実を図っていくことが望ましいと考える。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☒ 継続
-----------	---

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	・教材教具の整備の遅れは、教育活動に支障をきたすので、早急に整備を進めてほしい。 ・ソフト面に関して、将来的なビジョン、西高独自のものが見えない。
---------------	--